

北見北斗高校同期会 42 期・東京湾クルーズパーティ 振り返り

1. はじめに

2014 年 10 月 23 日（木）、東京湾クルーズパーティおよび 2 次会はほぼ計画通りに執行され、参加者の協力のもと、成功裏に終了した。

今回の同期会は、3 つの特徴があった。

一つは、実行委員会の副委員長に各クラスの女性が就任し、世話人を担当したこと。

二つには、東京湾クルーズ船上でパーティを行ったこと。

三つには、ホームページを開設し、経過を共有しながら当日開催に向かったことである。これらは幹事会、実行委員会で確認しながら進めたことであり、結果として、よい効果を生み出した。

2. 概要

- (1) **東京湾クルーズパーティ**で高校時代にフラッシュバック
パーティ会場：東京湾を遊覧する船上（ヴァンテアン）
集合時間と場所：10 月 23 日 15：00 竹芝棧橋・客船ターミナル
乗船 16：00、パーティ時間 16：30～18：30（食事・飲物付）、下船 18：35、
参加費：1 万円
- (2) **二次会**は東京湾が一望できる素敵な場所でコミュニケーション
場所：シーサイドホテル芝弥生の 11 階（下船後、竹芝棧橋から徒歩 5 分の場所）
時間：19：00～21：00、参加費：4500 円（オードブル・飲み放題）
- (3) **出欠ハガキ**は 6 月第 1 週に発送、6 月末集約
東京湾クルーズパーティ参加 85 名（一時は 90 名を超える参加申込であった）
二次会参加 82 名（総参加数 87 名）
- (4) **クラス世話人**は所属クラスのメンバーと連絡をとりあった。
- (5) **参加費の前払**を依頼した。（2014 年 8 月末迄に）

3. 運営

- (1) **幹事会**をたちあげ、更に、**実行委員会**をたちあげた。
副実行委員は各クラスの女性が担当し、所属クラスに参加の呼びかけをはじめ、当日のクラスまとめ役など重要な役割を果たした。今回の同期会の成功の要になった。
幹事会は専門分野を担当し、その責務を果たしたことにより、実行委員会が総合的に役割発揮することに貢献した。
- (2) **実行委員会**で**任務分掌**を確認したことで相互信頼にもとづく総合運営ができた。
委員長：パーティの成功にむけて実行委員会と企画を統括する。
副実行委員長：クラスの参加呼びかけ（札幌・北見と連携）と、当日のクラスの引率・まとめ役をする。
幹事長：パーティの成功にむけて準備から終了までの全体進行を指揮する。
事務局長：幹事会、実行委員会の事務局および参加案内集約などの総務事項を統括する。
広報：HP 管理とともに、パーティ参加促進の情宣活動を企画し執行する。動画・写真なども担当する。
宴会：クルーズ船上企画、2 次会企画を起案し、運営する。
交通：遠方参加者が多数見込まれるので、交通、ホテル、移動などを遠方参加者と調整し集約する。
10 月 23 日の参加者の行動を把握してサポートする。

会計：パーティ参加費 1 万円、2 次会参加費の収入と支出を管理する。

実行委員会体制

実行委員長 奥村(秋山)京子(4 組)

副実行委員長(クラス世話人)

1 組:川代ひとみ 2 組:矢部(宮川)麗子 3 組:進(松野)澄子 4 組:井上(奥田)真理子

5 組:山口(角田)洋子 6 組:佐々木(平田)英子 7 組:杉原(佐々木)幸子 8 組:林(片桐)恵子

幹事長 平澤芳樹(1 組)

事務局長 西垣内義則(4 組)

広報責任者 広川正三(4 組) (イメージキャラクター制作:及川博史(1 組))

宴会責任者 芦沢(荒木)都(3 組)、那須徹男(1 組)、大野健二(4 組)

交通責任者 佐々木(平田)英子(6 組)、小林光一(2 組)

会計責任者 斉藤(高橋)悦子(8 組)

(3) 北見、札幌の呼びかけ役を依頼し、地域からの参加促進を図った。

北見呼びかけ役：栗原寛隆 (4 組)

札幌呼びかけ役：佐藤一人 (4 組)

4. 個々の具体的課題を解決しながら、開催準備作業を行うことができた。

(1) ホームページは広川さんが運営管理した。<http://www.kitamihokuto42.com/>

(2) 1 組の及川さんが、42 期のイメージキャラクターを制作してくださった。

(3) 5 組の田辺さんが、42 期イメージキャラクターのシールを提供してくださった。

(4) 42 期の旗を一枚製作した。

(5) 参加費の前払い管理のために郵便口座を開設した。

(6) 会計担当は幹事が先に払った 1 万円の運営資金、振り込み、2 次会費など管理した。

(7) 宴会担当は当日プログラムを入念に計画した。当日配布リーフレットを参照。クラスでまとめ他クラスの人と話せなかった。クルーズ料理は期待したほどではなかった。

(8) 交通担当はシーサイド芝弥生を割引価格で紹介し、参加者の宿泊管理などを行った。トイレで着替える人がいて、更衣室が必要だった。

5. 決算

会費収入とカンパで東京湾クルーズパーティ、2 次会を行えた。参加者に DVD 送付をするなどして、今回の収支を清算することとした。

6. 主な経過

2013 年 12 月 15 日 南青山で同期会東京忘年会 (ここで、クルーズパーティ開催を発表)

2013 年 12 月 20 日 42 期全員に東京湾クルーズパーティ開催予告ハガキ郵送

2014 年 03 月 19 日 第 1 回実行委員会 (企画のイメージ議論と方向性の確認)

2014 年 05 月 15 日 第 2 回実行委員会 (企画の最終確認)

2014 年 06 月第 1 週 42 期に全員に参加案内 (クラス幹事が宛名書きして郵送)

2014 年 09 月 06 日 第 3 回実行委員会 (企画の執行状況の最終確認)

2014 年 10 月 23 日 北見北斗高校 42 期・東京湾クルーズパーティ開催

(幹事会：1 月 19 日、3 月 2 日、7 月 12 日、9 月 6 日)